

# 令和7年3月13日会議概要

## 第1 日時

令和7年3月13日（木）午前9時20分から午後0時20分までの間

## 第2 出席者

在田委員長、池坊委員、森田委員、増田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、サイバー対策本部長、京都市警察部長、警察学校長、情報通信部長、首席監察官等

《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

## 第3 議事の概要

### 1 議題

#### (1) 令和6年度の監察の実施結果等について

首席監察官から、令和6年度における監察の実施結果等について報告があった。

全警察署に対する総合監察及び全所属に対する随時監察の実施結果、警察庁・近畿管区警察局による監察の受監結果を説明の上、来年度も引き続き現下の状況を踏まえ計画を策定し、各種監察を実施していく旨、説明があった。

委員から、「引き続き非違事案の芽を摘む効果的取組をお願いする。」旨、発言があった。

#### (2) 令和6年度会計監査の実施結果について

総務部長から、令和6年度の京都府警察の全所属を対象として実施した会計監査の実施結果について報告があった。不正な会計経理は認められなかったものの、事務処理上の誤りもあったため、是正措置を講じさせた上で報告を求めて改善状況を検証するなど、適正な会計経理の徹底について指導した。引き続き基本の厳守を徹底し、チェック機能をはたらかせ、適正な会計経理に努める旨、説明があった。

委員から、「引き続き適正な会計経理に向けた指導をお願いする。」旨、発言があった。

#### (3) 警察事務システムの運用開始について

警務部長から、本年4月1日から、警察事務システムの運用を開始する旨、報告があった。勤務管理、給与管理、旅費管理、車両管理、地域管理等の基本情報を各職員がシステムに入力し、一元的に管理等することにより、これまでペーパーベースで行っていた勤務・給与事務等のデジタル化を推進し、業務の合理化・効率化を図るものであり、適正な運用に努める旨、説明があった。

#### (4) 「盗難特定金属製物品の処分の防止等に関する法律案」の閣議決定について

生活安全部長から、本年3月11日、盗まれた銅線などの金属くずを流通させないためにこれの買受けを行う業者を規制する「盗難特定金属製物品の処分の防止等に関する法律案」が閣議決定された旨、報告があった。銅価格の高騰の影響で主に北関東を中心に太陽光発電設備から銅線ケーブルを盗む金属盗が増加している現状を受け、警

察庁において有識者会議を開催するなど、法規制の在り方を含む検討が行われてきたもの。法律案の概要として、特定金属くず買受業者を規制するための措置、銅線を盗むためのケーブルカッター等の犯行用具の隠匿携帯の禁止、警察本部長による太陽光発電設備を設置する者等に対する盗難の防止に資する情報の周知などが盛り込まれている旨、説明があった。

委員から、「法律に基づいた適正な運用をよろしく願います。」旨、発言があった。

**(5) 伏見区内における殺人未遂事件の検挙について**

刑事部長から、捜査第一課及び伏見警察署は、本年3月4日、伏見区内で発生した殺人未遂事件について、公開捜査等、あらゆる捜査を尽くし、同年3月8日、当該殺人未遂事件被疑者を逮捕した旨、報告があった。

委員から、「今回事件発生後から被疑者が検挙されるまでの間、毎日のように地域住民に向けて、防犯メールで情報が発信されており、非常に良かった。」「地域の方々には見守り活動で、集団下校をする等協力をいただいていたが、早期検挙していただけて良かった。」旨、発言があった。

**(6) 半固定式速度違反自動監視装置の運用開始について**

交通部長から、令和6年度国費予算により高速道路上に整備された、半固定式の速度違反自動監視装置（オービス）の運用を開始する旨、報告があった。従前の可搬式のオービスと組み合わせることで、交通三悪の一つである速度違反について、厳格な取締りを行い交通事故防止に努めたい旨、説明があった。

委員から、「より一層交通事故防止に向け、効果が発揮されることを期待している。」旨、発言があった。

**(7) 集会、集団行進及び集団示威運動に関する条例の許可状況について（2月申請分）**

警備部長から、本年2月中に申請が許可された「集会、集団行進及び集団示威運動に関する条例」に基づく集会、デモの状況について報告があった。

**(8) 令和6年度サイバー防犯ボランティア広報啓発コンテスト最優秀受賞について**

サイバー対策本部長から、警察庁のサイバー警察局において開催されている令和6年度サイバー防犯ボランティア広報啓発コンテストの「フィッシング対策」部門において京都の洛陽総合高等学校が最優秀作品を受賞した旨、報告があった。今回3回目となるコンテストは、「フィッシング」部門で31作品、「ネット犯罪防止に向けた偽・誤情報対策」部門で28作品の応募があり、予備審査を経て選出された作品の中から、警察庁のXの掲載により審査、その後サイバー局の幹部審査員の点数をもとに選出されたもの。本年3月10日、警察庁において表彰式が行われ、サイバー警察局長から表彰状が授与されることとなっている旨、説明があった。

委員から、「簡潔で非常にわかりやすく良い作品である。」「高校の教育の成果も現れており、かつ社会の治安維持にも貢献できている。京都の高等学校が受賞されて喜ばしいことだ。」旨、発言があった。

**(9) 初任科第272期（短期課程）卒業式の実施について**

警察学校長から、本年3月25日、京都府警察学校において実施する初任科第272期（短期課程）卒業式の実施概要、出席者、教養状況等について報告があった。

## **(10) その他**

委員から、「先日、地元の行政区代表者会議に出席した。約40名の出席者を前に、今回初めて出席された北警察署長が、特殊詐欺等の注意を呼びかけをされ、その後、参加者と電動キックボード問題や子どもの安全対策等についての質疑応答があった。参加者からは、署長自らが、様々な情報を直接来られて訴えられたということで、訴求力が高まったということと、疑問の解消に役立ったということで、好感が持てたとの意見が多かった。これから、府警でもいろいろなイベントがあると思うので、そういう機会を捉えてこのような場が、今まで以上に増えていくと有難いと思った。」旨、発言があった。

## **(11) 監察案件**

首席監察官から、監察案件2件について報告があった。

## **2 個別決裁**

### **(1) 犯罪被害者等給付金（遺族）の支給裁定について**

警務課次席から、被害者遺族による犯罪被害者等給付金の支給裁定申請に伴う調査・検討結果について説明があり、審議の上、給付金の支給を裁定した。

### **(2) 特定抗争指定暴力団等（六代目山口組・神戸山口組）の指定期限の延長について**

捜査第四課主席調査官から、指定暴力団六代目山口組・神戸山口組を特定抗争指定暴力団等として指定期限を延長する必要性について説明があり、審議の上、延長を決定した。

### **(3) 京都府公安委員会事務専決規程及び技能試験官の指定等に関する規程の一部改正について**

運転免許試験課担当補佐から、道路交通法施行規則の一部改正に伴い、京都府公安委員会事務専決規程等の関係規程について所要の改正を行う旨説明があり、審議の上、決定した。

### **(4) 公安委員会宛苦情について（処理1件）**

公安委員会補佐室室長補佐から、過日受理した公安委員会宛の苦情申出1件について、調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

## **3 聴聞等**

### **運転免許関係行政処分について**

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、13件の行政処分を審議した。

## **4 個別報告**

### **(1) 京都府情報公開・個人情報保護審議会からの答申について**

総務課情報公開室担当補佐から、公文書部分公開決定に対する審査請求について、審議会は、処分庁が行った公文書部分公開決定において非公開とした部分を全部公開すべきであるとの答申を受けた旨、報告があった。

### **(2) 損害賠償請求事件の発生及び応訴について**

監察官室訟務官から、令和 7 年 2 月 4 日、京都府を被告とする損害賠償請求事件が京都簡易裁判所に提訴されたことに伴い、棄却を求めて応訴する旨、報告があった。

**(3) 交通前歴訂正等請求事件の発生及び応訴について**

監察官室訟務官から、令和 7 年 1 月 29 日、京都府を被告とする損害賠償請求事件が大阪地方裁判所に提訴されたことに伴い、棄却を求めて応訴する旨、報告があった。

**(4) 国家賠償等請求控訴事件の発生及び応訴について**

監察官室訟務官から、令和 7 年 1 月 30 日、京都府を被控訴人とする国家賠償等請求控訴事件が広島高等裁判所松江支部に提訴されたことに伴い、棄却を求めて応訴する旨、報告があった。

**(5) 当面の行事予定等について**

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。